

『ロータリー財団』

ロータリー財団は、1917年に国際ロータリーを支援するために設立された慈善団体です。ロータリー財団の歴史は、国際ロータリーの歴史と密接に関係しています。

ロータリー財団の起源は、1917年、当時の国際ロータリー会長であるアーチ・クランプが、国際ロータリーの活動を支援するために基金を設立することを提案したことに遡ります。クランプは、ロータリークラブが世界中で奉仕活動を展開していくためには、財政的な支援が必要であると主張しました。

この提案は、国際ロータリー理事会によって承認され、1917年10月1日に「ロータリー基金」として設立されました。ロータリー基金は、国際ロータリー会員の寄付によって運営されています。

日本でのロータリー発足は1920年 東京ロータリークラブが最初です。翌年の21年に国際ロータリーに加入しましたので21年がロータリー財団加入年となります。

1928年、ロータリー基金は「ロータリー財団」と改称されました。ロータリー財団は、人道支援、教育支援、平和活動など、様々な分野で活動を展開しています。

ロータリー財団の歴史は、国際ロータリーの歴史とともに、世界各地で奉仕活動を展開してきた歴史でもあります。ロータリー財団は、国際ロータリーの活動を支える重要な役割を果たしてきました。

ロータリー財団の主要な活動は、以下のとおりです。

- ・ 人道支援

ロータリー財団は、世界各地で発生する災害や紛争の被害者を支援しています。また、医療や教育、衛生などの分野で、人々がより良い生活を送れるように支援しています。

- ・ 教育支援

ロータリー財団は、世界中の子どもたちの教育を支援しています。また、職業教育やリーダーシップ教育など、人材育成を支援しています。

- ・ 平和活動

ロータリー財団は、平和と理解の促進を支援しています。また、紛争の予防や解決を支援しています。

「お酒の豆知識」

適切なお酒の1日量＝お酒の量(ml)×お酒の濃度(アルコール度数)÷100×0.8。例えば濃度25%の焼酎100mlを飲むと、 $100 \times 25 \div 100 \times 0.8$ で20gとなります。1日20gが適量です。

注：酒は百薬の長とするためにはその飲酒量は非常に少ないものです。厳密には人によって異なりますが、100歳以上のご存命の高齢者の60%は酒を嗜んでいます。

